

令和2年度常任幹事会

議案書

令和2年5月15日

一般社団法人原子力国民会議茨城支部

第1号議案

令和元年度事業報告

1. はじめに

令和元年6月2日に発足した「原子力国民会議茨城支部」は、設立目的を達成するための活動（下記①～③）に沿って、設立記念講演会、原子力フォーラム茨城、サイエンスカフェ茨城（8回）、施設見学会（2回）を開催した。また、会員の募集活動及びホームページの開設を行った。

- ① 産官学と連携した原子力推進のための活動
- ② 草の根活動による原子力に関する理解促進
- ③ 地域に根づいた活動のための基盤整備

2. 活動報告

2-1. 設立記念講演会

- ・日時：2019年6月2日（日） 13時30分～15時40分
- ・場所：(株)千代田テクノル コンベンションホール
- ・主催：原子力国民会議、原子力国民会議茨城支部
- ・協賛：大洗町商工会、検査開発(株)、原子力エンジニアリング(株)、(株)田口工務店、(株)タヤマ、(株)千代田テクノル、(株)TEC、(有)YASUCORPORATION
- ・参加人数：約270名
- ・配布資料：
 - ① 常任幹事名簿
 - ② 茨城支部設立までの活動報告
 - ③ 「原子力立地地域全国大会（2018年10月31日）特別講演」【転載】
明治魂が共に育てた原子力のまち 田山東湖 茨城県議会議員
 - ④ 茨城支部令和元年度事業計画
 - ⑤ 一般社団法人原子力国民会議（紹介）
 - ⑥ 茨城支部設立記念講演会（案内）
 - ⑦ 一般社団法人原子力国民会議「入会申込書」
 - ⑧ 基調講演資料【別刷 岡本孝司 東京大学教授】
「地球、日本、茨城のためのエネルギー戦略—未来のための原子力—」

【参考】一般社団法人原子力国民会議

- 世界における原子力ダイナミズムと日本の衰退（1）2018年1月
- 世界における原子力ダイナミズムと日本の衰退（2）2018年2月

2-2. 原子力フォーラム茨城

- ・開催日：令和2年1月18日
- ・場所：(株)千代田テクノルコンベンションセンター（大洗町）
- ・対象者：大洗町・水戸市・東海村等の一般市民、茨城支部会員
- ・加人数：約150名
- ・講演と講師：

第1部（基調講演）：「原発ゼロ」は可能か？

講師：東京工業大学特任教授 奈良林直氏

第2部（講演）：高レベル放射性廃棄物の地層処分について

講師：原子力発電環境整備機構 加来謙一氏

第3部：総括討論会

司会：原子力国民会議茨城支部 廣井博氏

- ・配布資料：「原発ゼロ」は可能か？

高レベル放射性廃棄物の地層処分について

アンケート用紙

- ・アンケート結果の関心あるテーマ（上位10位）

①9. 原子力と脱原子力のリスクを比較したら？	34
②13. 日本の原子力規制の問題点は？	32
③1. 地球温暖化は本当なの？	31
④2. 再生可能エネルギーで大丈夫？	31
⑤5. エネルギー危機は起きないの？	24
⑥21. 揺らぐエネルギー政策にいかに対処するか？	20
⑦8. 原発はどこまで安全になったか？	19
⑧4. パリ協定は実現するのか？	17
⑨19. 原子力を地域振興に生かすにはどうする？	17
⑩6. エネルギー基本計画は大丈夫なの？	15

2-3. サイエンスカフェ茨城

- ・サイエンスカフェ茨城実行委員会

活動期間：令和元年9月12日～令和2年2月22日

委員：3名、オブザーバー：3名、協力者：3名、事務局：2名

- ・サイエンスカフェ茨城開催日：

大洗地区 9月26日、10月3日、12月12日、1月9日

ひたちなか地区 10月17日、11月7日、12月19日、1月16日

- ・開催場所（2拠点）：大洗地区（大洗わくわく科学館）

ひたちなか地区（ひたちなか商工会議所）

- ・対象者：一般市民（特に女性・シニア層）、茨城支部会員
- ・参加人数：約 20 名/1 回・1 拠点、累計約 160 名
- ・第 1 部 講演と講師：
 - 第 1 回：地球温暖化「いま」と「これから」
講師：水戸地方気象台調査官 中村敏夫氏
 - 第 2 回：近年の電力事情とさまざまな事象について
講師：東京電力 押野武夫氏
 - 第 3 回：放射線の話【演示実験】放射線の観察
講師：日本原子力研究開発機構 高田千恵氏
 - 第 4 回：高レベル放射性廃棄物の地層処分
講師：原子力発電環境整備機構 富森卓氏、坂田英紀氏
- ・第 2 部 卓話と講師
 - 第 1 回～第 8 回：徳川慶喜 15 代将軍が飲んだコーヒー、他
講師：サザコーヒー会長 鈴木誉志男氏
(ひたちなか商工会議所会頭、日本コーヒー学会副会長)

2-4. 施設見学会

(1) 幌延深地層研究センター

- ・実施日：令和元年 10 月 26 日～27 日
- ・見学場所：幌延深地層研究センター（北海道幌延町）
- ・対象者：原子力国民会議茨城支部常任幹事会：8 名

(2) 地層処分基盤研究施設等

- ・実施日：令和元年 11 月 14 日
- ・見学場所：日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所
地層処分基盤研究施設及び地層処分放射化学研究施設
- ・対象者：一般市民、「サイエンスカフェ茨城」の参加者
- ・参加人数：18 名（女性：11 名、男性：7 名）、20～70 代

2-5. 活動基盤の整備

(1) 活動基盤の整備に関すること

- ・支部会員宛にメーリングリストを整備し運用した。

(2) 広報活動のための WEB サイトの制作運用

- ・「ホームページ」を開設し、運用を開始した。

ドメイン名：ibaraki-kokumin.org

以上

第 2 号議案

令和元年度決算報告
(令和元年 6 月 2 日～令和 2 年 3 月 31 日)

区分	内容	金額(円)	備考
収入の部	会費	496,000	茨城支部会員
	(内訳) 法人会員	175,000	7 口分(50%) 注1
	(内訳) 個人会員	321,000	192 人分(50%) 注1
	委託事業費	343,952	日本原子力文化財団から
	合計	839,952	A
支出の部	事務費	76,819	
	(内訳) 消耗品	17,725	郵送料、インク、ファイル等
	(内訳) 賃貸料	50,770	茨城支部事務所 注2
	(内訳) 設立時経費	8,324	スタンプ、記章等
	記念講演会	218,084	講演料、印刷代等 注2
	理解促進活動費	431,838	
	(内訳) 茨城支部勉強会	36,300	資料代等 注3
	(内訳) 原子力フォーラム 茨城	76,255	謝金、印刷代、懇親会等 (一部委託費)
	(内訳) サイエンスカフェ 茨城	36,260	委託費
	(内訳) WEBサイト制作 運用	283,023	委託費
	合計	726,741	B
次期繰越金		113,211	A-B

注1:収入の金額は、茨城支部会員会費の 50%を計上(本部と支部で折半)

注2:口座振込手数料を含む

注3:「幌延深地層研究センター」見学会の費用は、日本原子力文化財団からの委託費(財団が全額直接支払)

第3号議案

令和2年度事業計画

1. まえがき

原子力国民会議茨城支部は、“原子力復興は地域から！！”を旗印に掲げ、原子力研究発祥地の原子力研究開発と原子力事業の再構築を目指す。

このため、活動方針（①～③）を踏まえ、下記の事業内容を実施する。

- ① 産官学と連携した原子力推進のための活動
- ② 講演会等による原子力の理解促進
- ③ 地域活動のための基盤整備

2. 事業目的（中長期目標）

（1）原子力研究開発拠点の再構築

国のエネルギー基本計画の“可能な限り原子力を低減”を排除し、原子力研究開発の推進による立地地域振興を図り、発祥の地の誇りを取り戻す。

（2）原子力安全規制の改善

県内の試験研究炉と核燃料サイクル工学施設は停止・廃止措置中であり、科学的根拠と重要度に応じた審査を要求し、速やかに再開させる。

（3）産官学連携の国際原子力開発拠点構想の実現

原子力分野において、先進試験炉、医療機関と連携した核医学など、将来を見据えた革新的な研究開発に挑戦し、イノベーション立県を確立する。

（4）新原子力人材育成ネットワーク構想の推進

福島第一原発事故の教訓を生かし、“原子力実践工学”を重視した総合的な原子力リーダーを育成するため、県内の原子力施設を有効活用した国際原子力人材養成機関（仮称）を県内に誘致する。

3. 事業内容

3-1 産官学と連携した原子力推進のための基盤整備

- （1）地方議員とのネットワークの構築
- （2）原子力教育施設との連携

3-2 講演会等による原子力の理解活動

（1）原子力フォーラム茨城の開催

- ・日 時：令和2年10月～3年2月頃
- ・場 所：東海または大洗

- ・テーマ：原子力発祥の地茨城の原子力再興を考える（仮称）
 - ・対象者：会員、オピニオンリーダー等
- (2) 勉強会の開催
- ・日時：令和2年10月～3年2月頃、2回開催（予定）
 - ・場所：東海または大洗
 - ・内容：産官学間における情報・意見の共有
- (3) 見学会の実施
- ・日時：令和2年9月～12月頃
 - ・場所：幌延深地層研究センター
 - ・方法：日本原子力文化財団の理解促進事業（「選択型」）に応募
 - ・対象者：会員等

3-3 地域活動のための基盤整備

- (1) 活動基盤の強化
- ・法人会員、個人会員の維持・拡大
 - ・会員を対象にした情報提供サービス（メーリングリスト配信）
 - ・支部活動の紹介と関心ある情報提供のためのホームページの有効活用
- (2) 原子力国民会議本部および各支部との連携
- ・情報の共有と相互協力
 - ・本部主催の全国大会等への参画

以上

第4号議案

令和2年度予算

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分	内容	予算	備考
収入の部	前期からの繰越金	113,211	
	会費	500,000	
	(内訳) 法人会員	200,000	
	(内訳) 個人会員	300,000	
	寄付金	5,000	
	合計	618,211	
支出の部	事務費	80,000	郵送料、会議資料等
	講演会	300,000	謝金、会場費等
	勉強会等活動費	180,000	見学会(注参照)
	ホームページ維持費	6,000	ポータルサイトレンタル料
	予備費	52,211	
	合計	618,211	

注：「幌延深地層研究センター」見学会は日本原子力文化財団からの委託事業